

ドアのメンテナンス

玄関や室内のドアは、一日に何度も開閉するため、住まいのなかでもトラブルが起こりやすい場所のひとつです。調子が悪いなあ・・・と思ったら 早めに調整しましょう。

★ドアの下がりの直し方

ドアの開閉がスムーズにいかない、カギ穴が合わない・・・などのトラブルは、ドアが下がっているのが原因です。

ドアの下がりや、蝶番がゆるんでいるために起こります。日頃から蝶番がゆるんでいないか・・・点検して、ゆるんでいたなら早めに補修しましょう。

★ ドアをつけたまま直す

- 1 ドアをあけて正常な位置になるように持ち上げて、ドアの下に木片を差し込んで下がらないようにします。
- 2 柱側の蝶番の木ネジをはずして、エポキシ系の接着剤を木ネジの先に塗ります。
- 3 ドアの位置が正しい位置になっているのを確認し、再度木ネジを差し込みます。
- 4 接着剤が固まるまで、約30分かかるので、その間はドアの開閉はしないようにします。



★ ドアをはずして直す

少し本格的な補修方法です。柱側の木ネジをすべてとり、ドアをはずします。

- 1 ネジ穴よりも少し大きめに削った木(松などなるべく堅い木を使う)に接着剤をつけてネジ穴に埋め込みます。
- 2 埋め込んだ木の頭の部分をノコギリでカットする。



- 3 ノミで頭を平らにし、木ネジで閉めます。ネジを締める際に、ネジ山を壊さないようにしましょう。



錠前のメンテナンス

ドア錠は、日頃のちょっとしたメンテナンスで長持ちします。カギの抜き差しがスムーズにいかなくなったからといって、潤滑剤や潤滑油を差すことは絶対にしてはいけません。ほこりを吸う原因になり、余計に動きが悪くなります。そこで意外な力を発揮するのが、鉛筆の粉です。カギ穴に差し込むと不思議とカギがスムーズに動くようになります。

